

大きな危険が伴う土砂災害

● 早めの避難が命を守ります

「自分は大丈夫」と思わずに

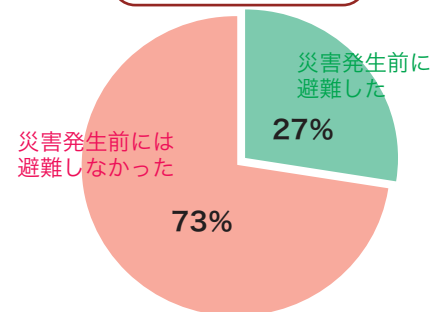
岐阜県には土砂災害が発生する恐れのある危険な箇所が多く存在し、これまでも幾度となく、大きな土砂災害に見舞われてきました。

土砂災害から身の安全をまもるためには早めに避難をすることが大切です。

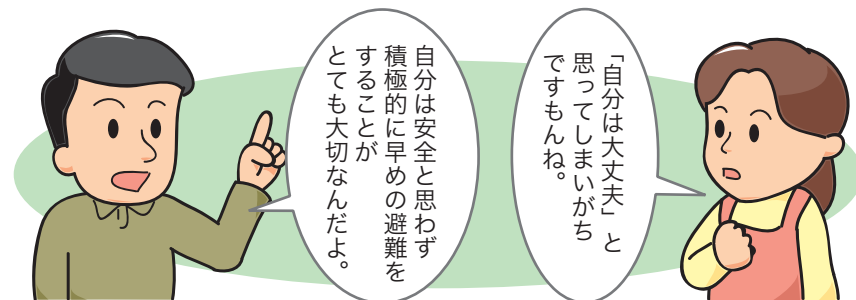


平成12年9月12日 飯田洞(土石流):恵那市上矢作町

避難の実態



※H18年7月豪雨時に土砂災害により人的被害が発生した箇所等の10地区における住民に対するアンケート調査より作成(国土交通省河川局砂防部砂防計画課)



土砂災害は突然襲いかかる

土砂災害は水害と違い、局地的・突発的に発生します。逃げ遅れて命を失わないためにも、土砂災害警戒情報や雨の状況を見て、危険と感じたら迷わず避難しましょう。

周囲でこんな様子を見たら気をつけましょう

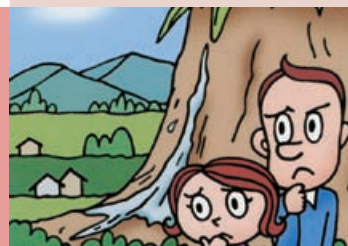
発生の日時

2～3時間前

土石流の前兆現象



川の水が異常に濁る。



湧き水の量が増えたり、斜面表面に水が流れたりする。

1～2時間前



渓流で石が転がる音がしたり、川に流木がまじったりする。



小石がぱらぱら落下したり、湧き水が濁ったりする。

直前



土臭いにおいや地鳴りがある。川が急に濁り、雨が降っているのに水位が下がったりすることもある。



湧き水が止まったり吹き出したりする。がけに割れ目ができることも。

※発生時間はおおよその目安です。

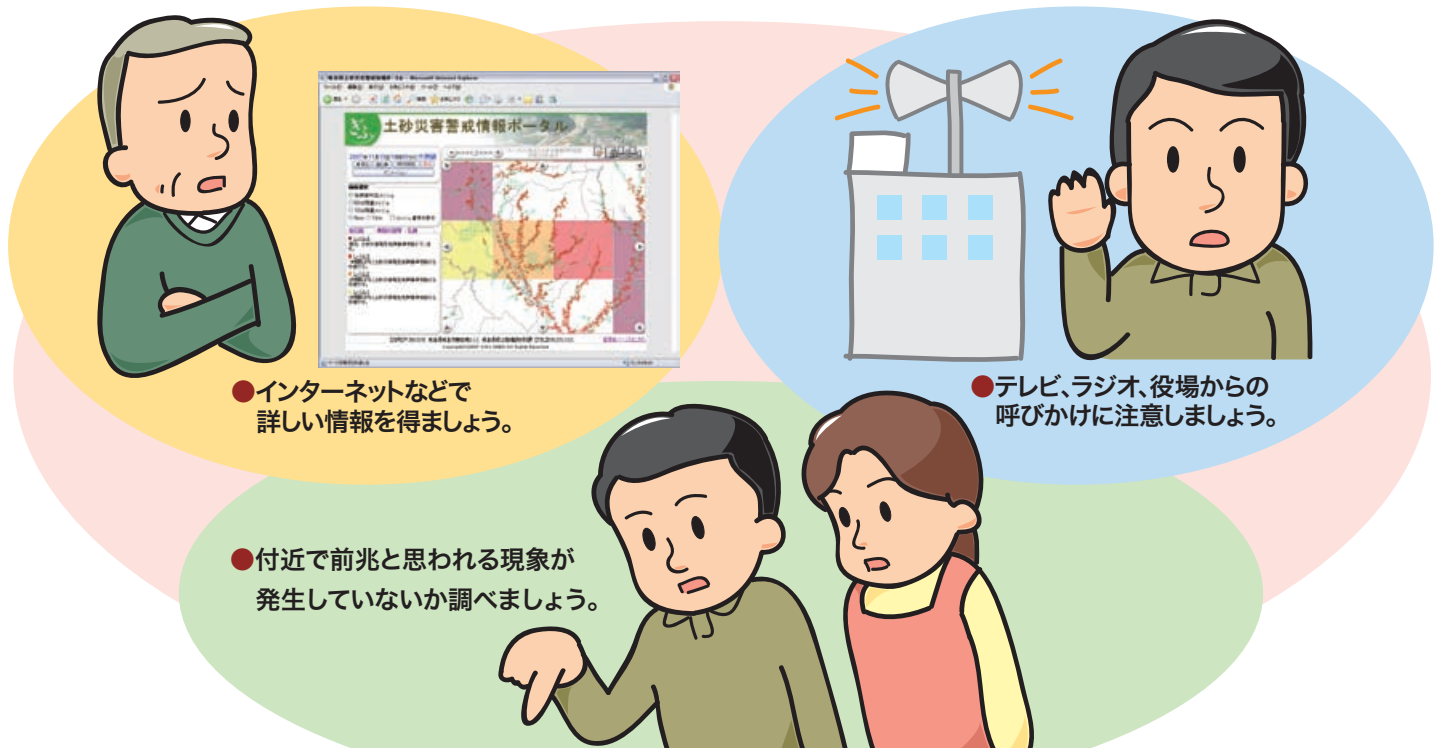
前兆現象にも注意を

● 土砂災害警戒情報が発表されたら

状況をつかんで早めに避難

土砂災害警戒情報が発表されたら、危険が迫っていることを十分理解し、インターネットなどで情報を収集するようにしましょう。

雨の量が多かったり、下記のような前兆現象が見られたら、安全に留意して、一刻も早く避難するようにしましょう。



「土砂災害」にはこんな特徴があります

土砂災害警戒情報が対象とする土石流とがけ崩れは、いったん発生すると、大きな危険が伴います。発生の恐れがあるときは、迷わず避難することが重要です。



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などに襲いかかります。



がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分によって斜面が不安定になり、急激に崩れ落ちることをいいます。突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。